

平成30年度東北地域酪農経営支援シンポジウム開催要領

1. 目的

我が国の酪農は、高齢化や担い手不足等から酪農家戸数や飼養頭数が減少するなど、生産基盤の弱体化が進んでおり、そのような中、特に東北地域は小規模な家族経営が多いという特徴を持っています。持続的な生産のためには後継者育成や新規就農、法人化等の促進と就農後の定着による酪農従事者の安定的な育成が求められています。

生産基盤の強化には、搾乳等における省力化や法人化等を推進するとともに、新たな担い手を育成するため、酪農の主産地としての魅力を情報発信し、地域の就農サポート組織に誘導する仕組みづくりに取り組むことが重要です。

このため、現状の働き方を把握し、ロボット等の活用やGAPの普及・推進等により働き方の見直しを行い、若い人や女性、リタイア世代が働きやすい労働環境を整え、酪農が職業として「選ばれる」ための環境づくりと情報発信を推進するためのシンポジウムを開催します。

2. 日時

平成30年12月20日（木曜日）

12時30分から15時30分（受付開始12時から）

3. 場所

JAビル宮城 11階 大会議室（仙台市青葉区上杉1-2-16）

4. 内容

（1）講演

「株式会社Kalm角山における取組」

株式会社Kalm角山 専務取締役 川口谷 仁 氏

（2）話題提供

① 「酪農と私」

農事組合法人新林牧場 柴田 瑞穂 氏

② 「酪農の労働環境改善と情報発信に向けた提案」

株式会社N T T ドコモ 東北支社 金田 直子 氏

（3）パネルディスカッション

「明日の酪農を担う後継者育成の取組（事業継承と法人化の観点から）」

コーディネーター 農場 HACCP 認証主任審査員、JGAP 審査員 白戸 綾子 氏

パネリスト 株式会社Kalm角山 専務取締役 川口谷 仁 氏

農事組合法人新林牧場 柴田 瑞穂 氏

株式会社N T T ドコモ 東北支社 金田 直子 氏

5. 主催

東北農政局、公益社団法人中央畜産会

6. 参集範囲

生産者、学生、農業者団体、地方公共団体、試験研究機関、関係支援機関、関連企業、その他酪農に関心のある方、報道関係者等（定員 150 名）

7. 参加申込み

参加費は無料です。

参加を希望する方は、平成 30 年 12 月 12 日（水曜日）までに別添の「参加申込書」に必要事項を御記入の上、お申込みください。

なお、お申込みによって得られた個人情報は厳正に管理し、御本人への連絡を行う場合に限り利用します。

<ファクシミリによるお申込先>

送信先：東北農政局生産部畜産課

ファクシミリ番号：022-217-4180

（会場の関係もあり、多数の場合は先着順で締め切らせていただきます。なお、定員を超えるお申込みがあり、御参加いただけない方には御連絡します。）